令和８年度 第２回名取市地域包括支援センター運営協議会 概要報告書

令和８年 11 月９日

名取市長　山田　司郎　様

健康福祉部介護長寿課長寿健康係
技術主査　吉田　亜里紗

令和 8 年度第 2 回名取市地域包括支援センター運営協議会を開催しましたので、その概要を下記のとおり報告いたします。

記

＜日　時＞　令和８年 11 月５日(木) 午後２時 30 分から午後３時 50 分

＜会　場＞　名取市役所議会棟３階　第１・２委　員会室

＜出席者＞

委　員：　渡辺会長、千葉副会長、三浦委員、飯倉委員、髙橋委員、丹野委員、田端委員
（欠席：洞口委員）

事務局：橋本課長、安齋係長、佐藤技術主幹、大竹保健師、吉田

傍聴者：　なし

＜内　容＞

【令和８年度 第２回 名取市地域包括支援センター運営協議会】

１.開　会　　司会：安齋係長

２.挨　拶　　渡辺会長

３.議　事

（１）令和８年度名取市地域包括支援センター事業中間報告について

資料１　（事務局より）

委　員：東包括と西包括では、認知症関連の相談件数に差が見られる。西包括担当地区の高齢化率が高いにも関わらず、東包括の相談件数が多い理由について、地域特性や世帯構成、相談の集計方法などに違いがあるのではないか。また、今後の施策につなげるためにも、相談内容や世帯状況などを細分化し、実態を把握できるデータの整理が必要と考えられる。

事務局：東包括と比較して、西包括担当地区では同居世帯や高齢者のみの世帯が多い。同居世帯では家族による見守りや医療機関への直接相談なども考えられるため、地域包括支援センターへの相談件数に差が生じている可能性がある。

東包括：家族からの認知症に関する相談のほか、近隣住民や民生委　員から、認知症が疑われる高齢者についての相談も多く寄せられている

西包括：　認知症関連の相談件数について、相談内容や訪問時の状況によって「認知症」の相談内容に計上するかどうかを判断している。

事務局：各地域包括支援センターで認知症関連の相談として計上する判断基準に違いがある可能性を踏まえ、地域包括支援センターおよび介護長寿課で集計方法の見直しを図る予定である。

委　員：西包括の地域ケア会議の開催回数が 0 回となっていることが、資料 2 では事業計画進捗状況を計画通りとしているため整合性がない。開催しなかった理由や今後の開催予定について知りたい。

事務局：西包括では、10 月上旬に地域課題の検討を目的とした地域ケア会議を 1 回開催している。今回の資料は 9 月末時点の実績で集計していたため、開催回数に反映されていなかったものであり、今後も年内に開催を予定している

（2）令和 8 年度名取市地域包括支援センター事業計画実施状況について

資料 2 別紙　　資料 2　　（事務局より）

委　員：地域包括支援センターが公民館事業や自主防災組織の活動に関わることについて、本来の業務との役割分担を明確にする必要があるのでないか。地域住民の支援や自主防災組織の育成は重要である一方、地域包括支援センターが継続的に関わりすぎることで、本来の専門業務に支障が生じないよう、一定の段階で地域住民や町内会等に役割を引き継いでいくことが望ましい。また、災害時の支援についても、要支援者の情報把握や地域の支援体制づくりを進めたうえで、実際の支援活動は地域住民が主体となって担えるよう、役割を整理していく必要があるのだろう。

事務局：公民館を会場として開催している認知症カフェ等については、公民館の施設を借りて実施しているものであり、公民館事業とは別の取り組みとして位置付けている。そして、防災に関する取り組みについては、避難行動要支援者名簿に登録されている方を地域でどのように支えていくかを検討するものであり、自主防災組織の活動とは異なる取り組みである。

西包括：避難行動要支援者の個別避難計画の作成にあたっては、町内会長や民生委員等と連携し、実際の災害時に地域住民が支援できる体制づくりを進めている。特に那智が丘地区では、ハザードマップに該当する方を対象に個別計画の作成を進めており、避難支援の方法や地域での役割分担について検討している。包括が直接救出や避難支援を担うのではなく、地域住民が主体的に活動できるよう、計画づくりを支援している。

委　員：地域の支援体制を構築する際には、地域包括支援センターがいつまでも中心となるのではなく、一定の段階で地域に役割を引き継ぎ、住民主体の活動へ移行することが重要である。地域包括支援センターが支援を継続しすぎると、住民が受け身になり、地域の担い手が育たなくなる可能性があるため、地域の自主性を尊重しながら、専門機関として必要な支援に重点を置いてほしい。

西包括：個別避難計画については、作成段階から地域住民に主体的に関わってもらい、実際の災害時には地域で対応できる体制を目指している。その他の地域活動についても、地域包括支援センターがすべてを担うのではなく、住民自身の力を引き出し、主体的な活動につながるよう支援していきたい。

4．その他

・「市民公開講座　高齢化社会の感染症対策：高齢者の命を救うために何ができるのか？」について紹介

5.閉　会

次回の名取市地域包括支援センター運営協議会は 2 月上旬を目安に開催予定。詳しい日程については開催の 1 か月前になったらお知らせする。